

ERP コンサルタント養成コース

近年の ICT の発展は著しく、GAF A、AI など ICT に係わる話題が、マスコミに毎日取り上げられています。

ICT が経営などと一体となり、これまでなかったサービスが生み出されている現在、高度専門職業人養成を目的の 1 つとして掲げている商学研究科では、ICT と経営にまたがる高度専門職業人養成を積極的に推進することとなりました。

その一環として、業務向けソフトでは、世界で圧倒的なシェアを誇る独 SAP 社の ERP パッケージを教材に、ERP の資格取得および IT に関わるテーマの研究を行うコースを 2021 年度より新設することになりました。本学が有する SAP ERP の資格取得のためのリソースを活用し、学位とともに SAP コンサルタント資格の取得を目指します。

コースの概要：

このコースを修了するためには、以下の科目を履修しなければなりません。

情報システム論特講（演習）

情報システム論特講（講義）

業務の統合化と ERP a・b

ERP システム実践研究 a・b

以上の科目を通じて、ERP の基礎知識を習得し、コンサルタント資格の取得を促します。

社会経験のない学生には、インターンシップを通じて ICT の実務を理解してもらいます。

これに加え、人工知能ビジネス論特講 a・b を履修すれば、AI の資格を取得することができます。さらに ERP の様々な機能のうち、取り組みたい分野（会計、経営、マーケティングなど）の科目を履修します。

このコースでは、課題研究を選択し、ERP に関わる課題を検討し、解決案をまとめます。

コースの履修要件：

このコースを履修するには、演習として「情報システム論特講」を受講、指導を受けなければなりません。一般入試・社会人特別入試では、指導教員を指名して出願するため、入試に合格すれば、必ず当該演習を履修でき、コースを受講できますが、外国人留学生入試では、指導教員を指名できないため、このコースを必ず履修できるわけではありません。

このコースを履修したい場合は、一般入試または社会人特別入試を受験してください。

補足) ERP のニーズ

IT 産業における人材需要は、デジタルトランスフォーメーションの広がりから堅調に推移している。SAP ERP においても既存の ERP 保守に加え、AI や IoT をサポートする次世代 ERP の普及が始まっており、SAP 資格を持つコンサルタントの需要が高まっている。

例えば富士通は、SAP 担当 SE を増強する方針を示している。

他業種あるいはプログラマーなどの仕事をしている人が IT プロフェッショナルとしてキャリアアップするなどの需要に応えられる求人が見込まれる。

ⁱ 例えば 2019 年 4 月 22 日付け 富士通プレスリリース

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/04/22-1.html>

現状 150 名を超える SAP 認定コンサルタント資格を有する「SAP Cloud Platform」のエンジニアを、年間 50 名規模で育成し体制を強化する。